

(議事要旨)

農山漁村地域整備計画②「滋賀県農業・農村振興地域整備計画」の事後評価

●委員

P21 計画の進捗について、当初、実績見込、実績の差において、地区は10地区増え、費用は3億4千万円増えたが、1地区当たりを考慮すると、費用の削減や効率性が上がったのか。

○事務局

それぞれの地区で、費用の増減があるので、一概には言えないが、事業地区数の増加は調査計画に伴うものがある。なお、事業地区については事後評価書に記載のとおりである。

●委員

P13 野洲川沿岸地区については、野洲川沿岸地区の甲賀市と湖南市の受益地の割合はどのようになっている、野洲川土地改良区の老朽化施設のどのくらいが直せたのか。また、R2年～R6年までに用水路整備および揚水機場整備であるが、採択するまでにどのくらい時間を要し、補助率の割合はどうか。

○事務局

野洲川沿岸地区の各市毎の受益地の割合はわからない。今回、R2年～R6年での農山漁村地域整備交付金事業で整備した農業水利施設は、すべて湖南市の受益地のものである。また、補助率は一般的に国50%県25%である。

●委員

通常のは場整備事業の県営事業での実施は、受益地が20ha以上で、地元負担が12.5%必要な事業で、農地集積率等を85%以上するなどし、農地集積促進事業を活用しているかと思うが、この杉山地区は15ha程度であるが、事業主体等や集積等はどうか、また、今までは集落営農はなかったのか。

○事務局

中山間地域の場合は、10ha以上で県営事業を行っている。また、杉山地区は、今まで未整備田であり、個人営農をしてきた地区で、営農組織はなかった。事業は農地集積・集約化を目標に掲げている事業ではないが、本事業を契機に営農組織を立ち上げ、集積を進めている。

●委員

どの集落営農も高齢化しており、若い新規就農者を入れていく必要がある。そして、世代交代の中で、集落営農を進めていく必要があり、社会問題化している。杉山地区においても、約15haの農地で営農を進めていけるよう国の事業も活用して、今後は、スマート農業も絡めていけるような、基盤整備を進めていく必要がある。

●委員

滋賀県農業・水産業基本計画と農山漁村地域整備計画と滋賀県農業・農村振興地域整備計画の関係は何か、またP9の視点の社会、経済は何を示すものか。

○事務局

農山漁村地域整備計画と滋賀県農業・農村振興地域整備計画は同じもので、滋賀県農業・水産業基本計画は滋賀県農業行政全体での計画である。視点の社会、経済は滋賀県農業・水産業基本計画の各施策における視点を示す。

●委員

農業生産基盤や農村地域の現状において維持管理体制や集落機能の低下などの問題があったが、その問題に対して、結果としてどのように解決に向かうかの何かしらのコメントがあればよいが、例えば、多面的機能交付金の取組が新たに取り組む、継続したなど示せないか。

○事務局

農山漁村地域整備交付金の事業のみでの評価は難しいが、滋賀県農業・水産業基本計画においては、各問題に対する指標を掲げ、評価している。一例であるが、農地集積を推進する項目についても指標があり、他の補助事業も含めて、滋賀県全体で問題に対する取り組みを行っている。また、農山漁村地域整備交付金においては、杉山地区で営農組合を立ち上げ、農地集積を図っている。

●委員

杉山地区は、農地中間管理機構は関わっているのか

○事務局

杉山地区は、農地中間管理機構は関わっていない。

●委員

資料-5 事後評価資料の地図の部分で、ひし形と四角が見分けづらい。また、事業一覧と地図の地区名がわかりやすくなるとよい。

○事務局

修正します。

●委員

現在、集落排水施設について公共下水との接続状況はどのようになっているか

○事務局

農業集落排水処理施設は、224 の施設があり、69 施設は接続済みで、55 施設は今後も農業集落排水施設として残っていく予定である。

○事後評価に対する意見について

●委員

特になし

○今後の方針（案）に対する意見について

●委員

待ったなしの農業基盤の整備、スマート農業の導入など今後の農業従事者にかかわる支援など待ったなしの意味合いを今後の方針（案）に入れてほしい。

●委員

施策の実現をスピードアップするという意味合いで、「滋賀県農業・水産業基本」に掲げる施策の実現に向け」を「早期実現」とする。

別紙のとおり事後評価に対する意見と今後の方針案に対する意見とする。